

令和元年度 第3回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和元年 11月21日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	9名…岩堀、石塚、小串、川島、小池、佐久間、妻沼、藤野、小澤
欠席者	1名…三澤
事務局	2名…市民生活課 櫻井、里吉
指定管理者	2名…NPO法人 YMCA コミュニティサポート 沼崎、佐々木
傍聴者	0名

- 配布資料
- 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
 - 2 夏のボラ市（夏のボランティア・市民活動体験）2019 報告
 - 3 のたろんフェア 2020 について
 - 4 サポセン 20 周年感謝祭について
 - 5 サポートセンターデータベース登録団体一覧・新規異動分

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から、資料 1-1 及び 1-2 に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・10月の利用者が減った理由としては10月12日に台風19号の影響で臨時休館としたのが影響している。
- ・10月12日は終日、13日は開館時間を1時間遅らせており、終日休館となったのはサポートセンター（以下「サポセン」）開館以来初である。
- ・コピー機や印刷機の利用が減少している理由については、久里浜や追浜のサポセンと同様の理由であると思われる。
- ・活動紹介コーナーについては、順調に推移している。センターエリアとフロントエリアについては、これまでセンターの後にフロントという流れがあったが、現在は利用の棲み分けがされているように思われる。
- ・利用者の声の8月にあった、貸し出し用のスクリーンの不具合については、運搬用の金具に不具合も生じたので、新たに購入することで対応する。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・4～10月の利用者数の実績でみると、久里浜は4月以外前年度比で増。追浜は5月以外前年度比で減となっている。
- ・コピー機の利用料金収入は久里浜は前年比で減。追浜は前年度比で増。印刷機の利用料金収入は久里浜・追浜ともに前年比で減となっている。

- ・コピー機の利用については、特に久里浜は設置場所が多くあることから利用が分散していることが想定され、印刷機の利用についてはネット印刷の普及が影響していると思われる。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・台風 19 号の際、汐入のサポセンは休館としたとのことだが、久里浜及び追浜のサポセンはどうだったのか。
- 当該施設の入っている商業施設（ウィング久里浜及びサンビーチ追浜）が休業となったことから両サポセンとも休館とした。（市民生活課）
- ・台風 19 号の影響によるサポセンの被害は。
- 雨漏りがあり、印刷機側の窓際に一部水たまりができたがそれ以外に大きな被害はなかった。被害状況については管理組合と情報を共有している。なお、イベントとしてはSDGs 講演会は延期、NPO 法人学習会及び被災地支援学習会は中止となった。（指定管理者）
- ・展示コーナーの利用状況の各団体の横にある数値の意味は
- 年度内に当該団体が展示を行った回数を記載している。なお、展示は1年度1団体あたり2回までを原則としているためカウントしている。（指定管理者）

1－（2）夏のボランティア・市民活動体験 2019 報告

指定管理者から、資料 2 に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・資料の作成後判明したが、残念ながら参加者がいなかった団体が 2 団体ほどあったようである。
- ・団体へのアンケートを行ったところ、例年のイベントの種類や内容と大きな変更はなかったが、今年は男性の参加者が多かったようである。
- ・10 代など若い人の参加も多かったと聞いている。これは子供の参加しやすいイベントが増えたのでないかと思われる。
- ・参加のきっかけとしては口コミで参加した人が多く、SNS や市の広報なども一定の効果があったが、FM を聞いて参加してくれる人がもっと増えるとよいと思っている。
- ・報告集は発行済みであり、団体へ送付したほか、サポセンや他の施設にも配架し閲覧できるようにしている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・周りから報告集を見たという話も聞いている。
- ・報告集の内容は。
- A4 サイズの冊子形式で、1 団体 1 ページ団体のイベントに関する情報が写真入りで掲載されている。（指定管理者）

1－（3）のたろんフェア 2020 について

指定管理者から、令和 2 年 2 月開催予定の「のたろんフェア 2020」について報告した。

(指定管理者)

- ・参加団体の締切日を 11 月 15 日とし、現時点では 104 団体からの申し込みがある。

・例年との大きな変更点としては、これまで展示用に用意していたパネルを無くしその代わり机とイスを各団体に確保することとした。これにより、これまでより視界が開けるという事は想定されるが、どうなるかは未知数である。また、ショッパーズプラザ改装閉店中のため、パフォーマンスについてはステージを館内に設置することや、PRイベントについてはYデッキ下で、またフェア当日の土曜日はリドレのスペースを借りてパフォーマンスを実施する予定である。

・昨年から引き続きフェア2日目の日曜日は産業交流プラザで開催するイベントとも連携する予定である。

・会場のレイアウトについてもこれまで着ぐるみの控室として使用していた部屋を休憩コーナーとし、産プラの1室を着ぐるみの控室として無償で提供を受けることとなった。

・104団体のうち新規が14団体あるというのは例年に比べて多くなっている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

・昨年ショッパーズプラザでパフォーマンスをしていた団体は今年どうなるのか。

→今回はサポセン内にステージを設ける予定である。(指定管理者)

・パネルを無くした理由は。

→運搬に係る負担が一番の理由である。これまで平日日中に追浜のコミセンから借用しているが、搬出入に関わるボランティアスタッフへの負担、借用及び返却する際の開館中の運搬作業における施設及び当該施設来館者への影響等を勘案したものである。この変更により参加団体への影響も懸念されたが、今回は試行することとした。(指定管理者)

・今までの参加団体は書面に記載されていても従来のイメージが残っているため、参加団体説明会に出て初めて気が付くということも考えられるが、過去に運搬に際し負傷した例もあるので、このような対応とした。新たな側面として見通しが効くということがどう影響するかということも考えていきたい。

・様々なご意見があるという事は承知しているが、検討した結果の新たな試みとし、次回以降の検討材料としたい。(指定管理者)

・パネルは無くなるが、実行委員会として展示の高さについてある危険防止のために程度制限を設けるため、その件については、参加団体説明会で案内する予定である。

・参加団体説明会はいつ開催されるのか。

→12月13日(金)である。(指定管理者)

・施設外で行われていた飲食などの提供は変更があるのか。

→従来どおり実施予定である。なお、テーブルとイスについては昨年度と同様神奈川歯科大から借用予定である。(指定管理者)

・懇話会としての参加についてはどのようにするか。

→昨年度は懇話会構成員の改選時期であったため、構成員募集のPRのパネルを作製し展示したが、今年は懇話会のPRということで展示できればどうかと考えているがいかがか。また、内容については事務局に一任ということによろしいか。(市民生活課)

→異議なし(出席全委員)

1-(4) サポセン20周年感謝祭について

指定管理者から、資料4について報告した。

(指定管理者)

- ・多くの方にご出席いただき盛大に行う事ができ感謝申し上げます。
- ・ワークショップで出た意見については、情報をスタッフ間や市と共有しているところであり、今後の運営の参考とさせていただく。
- ・今回のイベントを契機として、意見を聞く場を開催することを検討していきたい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・パネルディスカッションは良かった。先人に感謝しつつ引き続き継続できるように努力していく必要がある。アンケートなどで意見を集約してみてもどうか。サポセンの登録団体も増やすために周知する必要もある。また、追浜や久里浜のサポセンについてはもっとPRする必要があるので追浜や久里浜のサポセンに展示するなど活用してみてもどうか。

→ご意見として承らせていただく。(指定管理者・市民生活課)

- ・ワークショップの結果は公開する予定はあるか。

→何らかのアクションを起こす予定であるが、どのように行うかについては検討したい。(指定管理者)

- ・結果については運営懇話会として共有できるとよい。

2 議題

2- (1) サポートセンターデータベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から、資料3に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

特になし

3 その他

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・サポセンのホームページとSNSとの棲み分けはどのようになっているか。印象として全体はホームページへ掲載、SNSは個々のイベントに関するものというような印象がある。精査したことはあるか。

→ホームページは施設開館当初に作成したものに改良を重ねてきているという経緯がある。ここ数年でホームページのリニューアルについては検討している。ホームページは固定的な情報が主となり、ツイッターやフェイスブック等のSNSは個々のイベントに関するものとなっている。臨時休館等の情報発信の手段としてサポセンとしてのSNSを立ち上げることも検討している(指定管理者)

- ・SNS等に不慣れな人はまずホームページから情報を得ようとする。サポセンのホームページにはのたろんカレンダーというのがあり、そこでイベント等の情報を得ようとしても、そこに全ては網羅されていない。サポセンには、施設のホームページ、のたろんジャーナル、のたろんブログ等媒体が多岐に亘っているためわかりにくい部分がある。中心となる施設のホームページに情報を集約させても良いのではないか。欲しい情報が取り出しやすいホームページとなるようにしてもらいたい。のたろんブログは更新がある時期で止まっているのでWeb上の情報はスリム

化しても良いのでないか。

→ホームページの構築についてはいろいろな制約があるため困難であり、作業に時間を要することになるが、欲しい情報が取得しやすいようリニューアルする。(指定管理者)

- ・メールマガジンである「のたろんメール」の登録数は

→登録数は125件である。現在は毎月5日に定期発行している。(指定管理者)

- ・サポセンの登録団体数に比してメールの登録数が少ないと思う。登録数を上げるよう方策を考えるのか、それとも業務自体を見直し、配信作業に従事しているスタッフの時間を他の業務に使用するという考えもある。

- ・館内での無線LANの使用について、接続方法が良くわからない人が接続方法について職員に尋ねた時に案内はしてもらったが、手取り足取りは行わないといったようなニュアンスを受けたと聞いた。接続方法の案内がサポセンのホームページに掲載がなく、横須賀市のホームページに記載があったので、逆リンクを貼る等の対応はできないのか。しかも市のホームページには技術的な支援助言は行わないと記載されている。この表現はどうか。規約にも同様の文言が記載されているが、もう少し表現を変えても良いのではないか。

→市のホームページへのリンクは可能であると思われる。ホームページ上での表現の仕方については検討させていただきたい。記載のような表現としているには何か理由があることも考えられるので、世間一般的な無線LANの使い方であるとか無線LANを導入している他の公共施設等の事例も調べたい。(市民生活課)

→無線LANの接続については、現状としては可能な限り支援をしている。ただし、ある程度パソコンが分かっている者でないと対応できないため、基本的に対応できる職員は嘱託職員となっている。受付の混雑状況などにより、接続手順を示した用紙を渡すなどの対応となってしまう場合もある。今後は職員のスキルアップも含め対応できるようにしたい。(指定管理者)

- ・会議スペースの予約方法は必ず電話でないといけないのか。

→メールやFAX等でも受け付けているが、メールやFAXの場合はスタッフによる受信確認作業が必要となるため、必ずしも送信=予約とはならず、先着順であるため、場合によっては電話予約の方が早く確定してしまう場合も想定される。また、誤送信により、送ったつもりが届いていないことも考えられるので、送信した際は受信確認の一報をお願いしている。そのような理由からも電話予約が確実であるといえる。(指定管理者)

連絡事項

(市民生活課)

- ・市民協働講習会(12月12日)のお知らせ。

(指定管理者)

- ・SDGs講演会(11月30日)のお知らせ

- ・企業・NPO・大学パートナーシップミーティング(12月3日)のお知らせ。

- ・第4回運営懇話会は令和2年2月20日(木)18:30~サポートセンターにて開催予定。

以上